

18. 車椅子取付テーブルの試作 (第2報)

国立療養所医王病院

正木 不二麿

51年度筋ジス班会議において報告したテーブルについて、再度、試作改良を行なったので、ここに報告する。(各データの基準は、前回の実態調査表に基づく)

〔目的および、試作のねらい〕

車椅子の増加に伴なう、集団生活活動場面の援助として、次の5項目を満たすものを基本に、テーブルの試作を行なった。

- (1) 高さの調整、テーブル面の前後スライドによって、すべての車椅子に、取付可能であること。
- (2) ブレーキ操作、移動操作を考慮し、取りつけたままでも、自力移動が可能であること。
- (3) 排尿時、体位のたてなおし等において、患者と職員の負担軽減をはかるために、調整等を簡素化すること。
- (4) 取りはずし、持ち運びを軽量、簡素化する事によって、院外行事(学習、食事を伴なう)の行先、制約の緩和をはかると共に、外泊時にも、活用できるものとする。
- (5) テーブルの受けパイプは、つけたままでも、日常の活動に支障のないもの、支障のないところにつけられること。

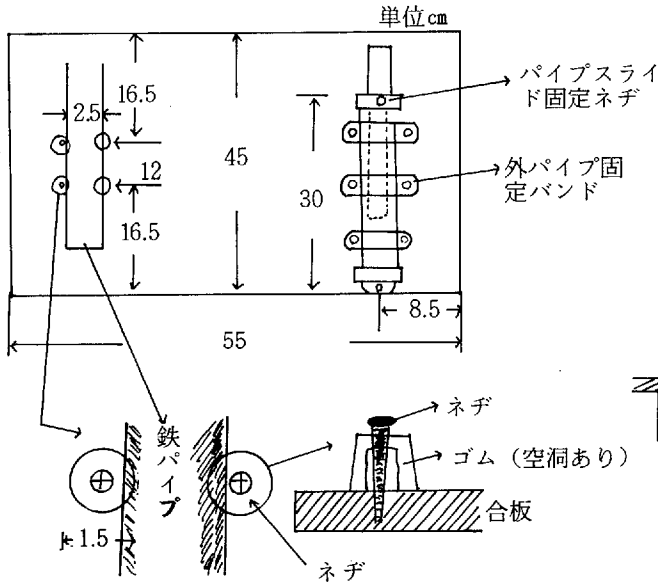
〔おわりに〕

車椅子取付テーブルの試作品については、現在の生活場面より考察される食事、余暇学習程度の重量には、十分耐え、又、簡素化する事ができたと思われるが、テーブル上の重量が、さらに増した場合、材質の検討が必要となる。しかし、院外集団行事以外においては、少なくとも、個々に合ったテーブルと、それらを設置しておく場所があれば、必要でなくなる。

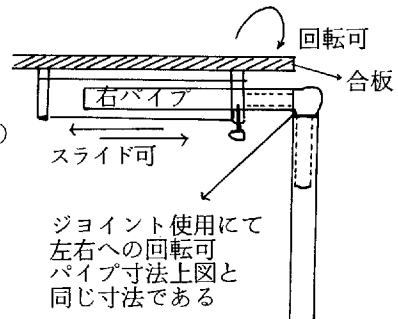
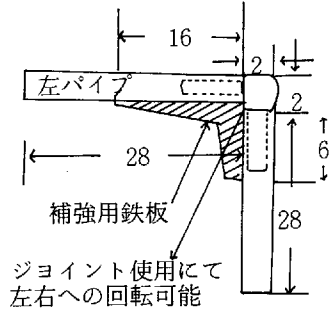
写真1

概略図

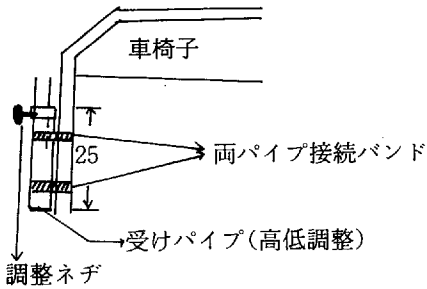
(テーブル裏面図)



左ラバーゴム間はめ込み用受け



(受けパイプ図 (左右同じ))



※ 車椅子巾の調整は今回左上図のラバー取付位置にて決める。又、4個のラバーゴムにてパイプをはさみ、前後スライドと固定の2役を同時に行なう。

写真2

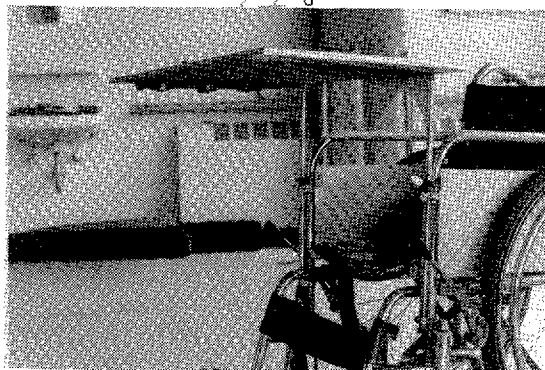


写真3

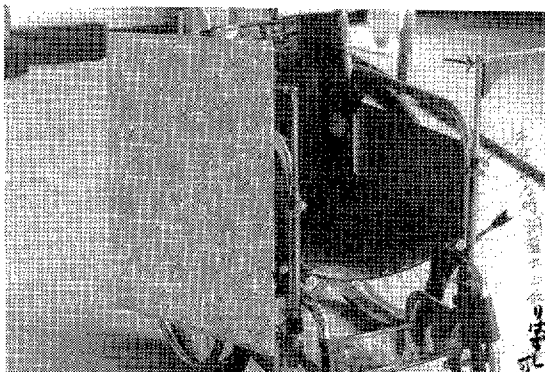
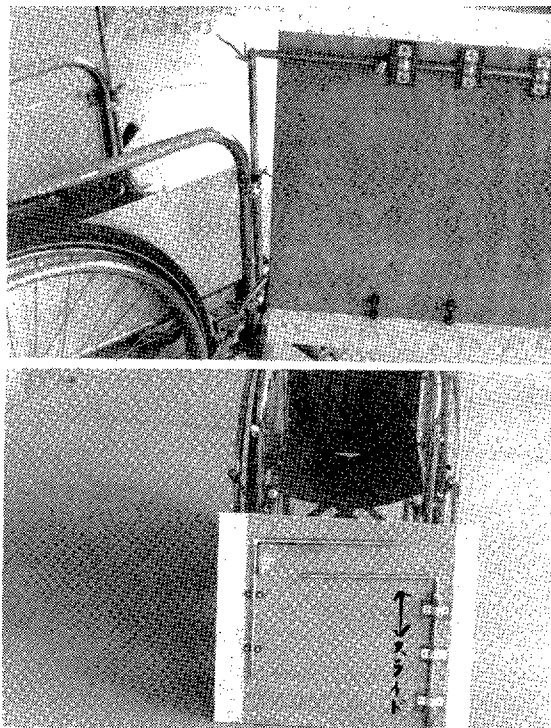


写真4



↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

51年度筋ジス班会議において報告したテーブルについて、再度、試作改良を行なったので、ここに報告する。(各データの基準は、前回の実態調査表に基づく)